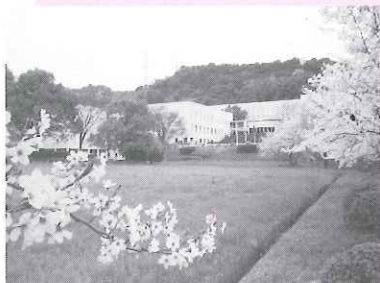


所報

佐賀県
教育センター

No.16



ミネルバ通信

※「ミネルバ」とは、ローマ神話における技術・職人の女神にちなんでいます。この女神は、ギリシア神界最大の女神アテナ（学問・技芸・知恵を司る神）と同一視されている神です。私たち教職員が、教育の専門家としてより高いものを求めながら、研修を積んでいくことを期して名付けました。

C O N T E N T S

- ◆平成12年度佐賀県教育センター事業の紹介…………… 2～3
 - ・魅力ある研修講座
 - ・新しい教育に対応した研究調査事業
- ◆インフォメーション…………… 4
 - ・第21回研究発表会の案内
 - ・「総合」に関する書籍の紹介

巻頭言

今こそ実践的な指導力を

佐賀県教育センター所長
植松 治彦



3月中旬のある日のことである。結婚式場へと向かうマイクロバスの中で、3歳になる親類の女の子が人懐っこく話し掛けてきた。彼女は紙袋を大事そうに抱えていて、その中身が何であるかを私に当てろと言うのである。見当をつけて、いくつか答えたけれども全部外れてしまった。

「教えてあげる」と言って見せてくれた紙袋の中身は大小の飴玉とかキャンデーの類で、結婚式に来るであろう親類の子どもたちへのお土産であった。私后感心したのは、〇〇ちゃんは何歳だからこれをあげても大丈夫だとか、〇〇ちゃんはまだ小さいからこっちをあげようとか言う彼女の言葉であった。おそらく買物をするとき母親の助言があったのだろうが、それにしても3歳の子どもの口から出た優しい言葉にはほのぼのとしたものを感じると同時にその気持ちをずっと持ち続けてほしいと思ったことであった。

最近の社会現象を見ていると、人間の心のかけらも持ち合わせていないのではないと思われるような大人が引き起こす事件が続いており、また教職員の不祥事もよく報道されている。さらには凶悪事件の低年齢化も問題になっている。人間としての優しさや純粋さが成長のどの段階で失われていくのか悲しいことだ。

少なくとも幼児と接している限りにおいては、この子が将来心根の曲がった人間になってしまうのではないかという気配は微塵も感じない。

子どもたちが成長して家庭を持ち、やがてまた子どもを育てていくことを思うとき、子どもたちの教育に直接関わる我々教師の役割の重さを痛感せずにはいられない。

一方で、国際化の波のうねりは益々大きくなっており、わが国も真の豊かさを求めながら今以上に世界平和に貢献できる国となっていくことが必要であろう。そのためには、まず、子どもたちが逞しく生きる力を身に付けることや創造力を生み出すもとなるしっかりした基礎力を身に付けると共に、自信を持ってわが国の文化についても語れるような人材の育成を目指すことが何よりも求められていると思う。

今こそ、学校現場の先生たちが教育の専門家としての実践的な指導力を高め、互いに連携を取り合って様々な教育問題に敢然と立ち向かう必要がある。そのためのお役に立てるような教育センターでありたいと願っている。

平成12年度 佐賀県教育センター事業の紹介

【魅力ある研修講座】

本教育センターでは、「学習指導要領」並びに「佐賀県教育の基本方針」の理念を踏まえ、教職員の資質向上を図るとともに、実践的指導力の充実と発展に資するため、社会の変化に対応した魅力ある研修講座を推進しています。

基本研修 (19本)

職務遂行に必要な専門的知識の向上を図るため、指定された該当者が受講する研修

専門研修 (69本)

教科・領域を中心に、研修の目標を明確にしたテーマ別の希望に基づく研修

断続研修 (5本)

専門的な知識技能を高め、各学校における指導的役割を果たす教職員の育成を図るため、一定期間に断続的に行う希望に基づく研修

1 基本研修

協議や演習の時間を増やし、更に充実した研修を目指します。

2 専門研修

- (1) 「総合的な学習の時間」に対応する研修
創設の趣旨や学習のねらいを理解するとともに、講義、実践発表、現地での体験等を通して研修を深める。

小学校総合的な学習（理論と実践）
中学校総合的な学習（創意工夫を生かした特色ある学習活動）
総合的な学習（環境）
総合的な学習（国際理解）

- (2) 中学校・高等学校の連携指導を図る研修
教科教育における中高連携指導の在り方について、実践発表、協議等を通して研修を深める。

国語科教育（音声言語指導方法開発）[授業設定]
数学科教育（中高連携の在り方）[授業設定]
英語科教育（英語のコミュニケーション能力の育成）[授業設定]
美術科（コンピュータを活用した美術科指導）

- (3) 授業を設定した研修
新学習指導要領の内容を踏まえた指導の工夫や評価の在り方等について、提案授業を通して研修を深める。

(小 学 校) 国語, 社会, 算数, 理科, 図工, 道徳
(中 学 校) 国語, 社会, 理科, 音楽, 道徳
技術・家庭科（技術系列）
(高等学校) 国語

(4) 「移動講座」による研修

受講者の利便性等を考慮し、会場を教育センター外に移して研修を深める。

校内研究（研究推進の手だてと工夫）	ー唐津市
小学校国語科基礎（国語教育の提案）	ー武雄市
小学校読書指導（図書館運営と利用指導）	ー鹿島市

(5) 心の教育の充実を目指す研修

児童生徒の理解、また、指導や支援・援助の在り方を習得する。

小学校、中・高等学校生徒指導
教育相談基礎、専門
小学校、中・高等学校教育相談事例研究
教育相談体験学習（グループ・エンカウンター）

(6) 特殊教育の充実を目指す研修

特殊教育における指導や支援の在り方及び適切な対応の仕方を習得する。

特殊教育Ⅰ（軽度障害児の教育）
特殊教育Ⅱ（重度障害児の教育）
特殊教育Ⅲ（学習障害児・交流教育）

(7) 現地研修の設定

地域素材を生かした現地研修を通して、体験的・問題解決的指導の在り方を探る。

小学校理科 ー三神地区（岩石・植物採集）
小学校生活科ー教育センター周辺（ネイチャーゲーム）
中学校理科 ー江北町周辺（地層・植物観察）
高等学校理科（生物）ー日の隈山（ベニツチカメムシ生態調査）
高等学校理科（地学）ー鳥栖市周辺（地質調査）
総合的な学習（環境）ー佐賀県環境センターの見学

(8) 情報化に対応した研修

コンピュータ等の各種教育メディアの操作及び活用する方法を習得する。

情報リテラシー（統合ソフトを使った学級通信、成績処理）
コンピュータの活用（コンピュータグラフィックス、プレゼンテーション）
情報通信ネットワーク（管理・運用、E-Mailとホームページ作成）
エクセル VBA マクロ入門、3次元 CAD 入門
Windows プログラミングの基礎、プレゼンテーションツールの利用

3 断続研修

- (1) 教育相談の中心的役割を果たす人材育成
教育相談断続
- (2) 情報処理に関する知識や技術の習得及び実践的な教材等の開発
情報処理断続基礎、応用
- (3) パソコンを活用した教育の指導者養成
パソコン断続Ⅰ、Ⅱ

※研修講座の一部を紹介しておりますので、詳細については各学校に配布している「平成12年度研修講座案内」を御覧ください。

【新しい教育に対応した研究調査事業】

【生きる力】をはぐくむ学校教育の創造

本教育センターは、学校現場の教育研究、教育実践を発表し交流する機会を設けています。また、今日的な教育問題や将来を見通しての教育課題についての調査・研究も行っています。これらの成果は、研究発表会や研究紀要等で紹介し、県内の教育の充実・改善に寄与しています。

本年度は『【生きる力】をはぐくむ学校教育の創造』の視点に立った教育研究に取り組んでおり、今回はその「研究調査事業」の概要について紹介します。

1 研究組織

研究組織を次の3つに区分し取り組んでいます。

ア 特別研究

社会的な要請が強く、学校現場で必要とされる緊急な課題へ対応する調査研究

イ 共同研究

教科・領域等において、児童生徒の実態を調査分析し、それを踏まえ、学習指導方法の改善や手だて等を明らかにする調査研究

ウ 個別研究

所員が、自己の研修教科や領域に応じ個人的に研究主題を定めて取り組む調査研究

特別研究や共同研究については、各主題ごとに研究委員会を設置し、所員だけでなく現場の先生方に研究委員として協力を依頼しています。

2 学級経営研究部会の紹介

近年、学級がうまく機能しない状況、いわゆる学級崩壊の問題が深刻化し、改めて学級経営の在り方が見直されています。

そこで、「学級が、学校におけるすべての教育活動を支える、最も中核になるものである」という認識に立ち、学級崩壊等の諸問題に対応できるよう、学級経営研究部会を新設し、下記のとおり研究に取り組むことにしました。

○研究部会テーマ

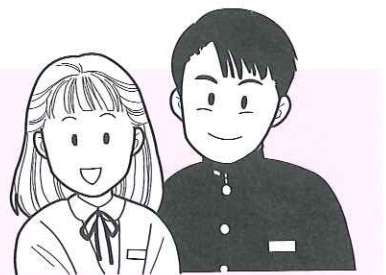
小・中学校における「学級経営」の在り方と進め方に関する研究

○研究の目的

まとまりのある学級集団を育てるための小・中学校における学級経営の在り方を明らかにする。

「平成12年度研究調査事業組織」

	研究部会名	研究委員会	研究期間
特別研究	学 級 経 営	小学校学級経営 中学校学級経営	H12
	総 合 的 な 学 習	小学校 中学校 高等学校	
	道 徳 教 育	小学校道徳 中学校道徳	
	基 礎 調 査	中学校英語 高等学校英語	
共同研究	指導と評価	小学校国語 小学校算数 中学校国語 中学校数学	H12～H13
	教 育 相 談	教育相談 学校適応指導	
	特 殊 教 育	特殊教育	
	情報化に対応する教育	情報システム利用 ネットワーク利用	
研究	課 題 選 択	小学校社会 小学校理科	H11～H12
	学 習	小学校理科	
	個 別 研 究		H12



INFORMATION

第21回 研究発表会の 案内

本年度からは、これまでの研究発表会とは異なり、教育センター研究調査事業及び長期研修生の研究成果のみの発表となります。(教育論文の入選者の研究発表は、平成11年度より教育交流会「実践のとびら21」に移行しております。)新しい教育に対応した教育研究の発表を下記のとおり計画していますので、ふるって御参加ください。

- (1) 期 日 平成12年 5月16日 (火)
- (2) 場 所 佐賀県教育センター 大研修室 他
- (3) 日程及び内容

時間	9:00～	9:30～		9:50～		11:10～	12:10～	13:00～		15:20～
内容	受 付	開会式	休息	全体発表	休息	A 分科会	昼 食	講 演	休息	B 分科会

全体発表

心の教育部会「豊かな人間性の育成を目指す心の教育の調査研究」

A分科会

国語(中),算数(小),美術(中),商業(高),特別活動(小及び中)総合的な学習(小及び高),教育相談,情報システム利用長期研修生論文「理科(小)」

講演

「教育改革期における新しい学校の在り方」

国立教育研究所教育経営研究部 学校経営研究室長 小松 郁夫 先生

B分科会

国語(小),数学(中及び高),生活(小),化学(高),道徳(小及び中)総合的な学習(中),学校適応指導,ネットワーク利用長期研修生論文「生徒指導(中),総合的な学習(高)」

「総合」に関する 書籍の紹介



「総合的な学習の時間」の実施に向けて、様々な書籍が出版されています。教育センターでは、「総合」に関する書籍を数多く購入しました。図書資料室の書籍は、自由に閲覧でき貸し出しができます。また、ホームページからの検索もできます。

主な書籍

- ◇ 『学校の創意工夫を生かす「総合的な学習」の展開』 1～4巻
有園 格 小島 宏 ぎょうせい
- ◇ 『総合的な学習の理論と展開』 水越 敏行 明治図書
- ◇ 『総合学習の理論・実践・評価』 高浦 勝義 黎明書房
- ◇ 『教育の流れを変える総合的な学習』 児島 邦宏 ぎょうせい
- ◇ 『中学校における総合的な学習の時間の実践』
埼玉県杉戸町立杉戸中学校 ゆまに書房
- ◇ 『総合学習を指導できる“教師の力量”』
奈須 正裕 明治図書
- ◇ 『「総合的な学習」の実践と新しい評価法』
佐藤 真 学事出版
- ◇ 『総合学習のためのポートフォリオ評価』
加藤 幸次 安藤 輝次 黎明書房

編集・発行 佐賀県教育センター 〒840-0214 佐賀県佐賀郡大和町大字川上字西山
TEL.0952-62-5211 FAX.0952-62-6404
ホームページ <http://www.saga-ed.go.jp/>

平成12年4月10日 (16-80)